

令和6年3月29日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題	遮光剤の吹き付けと天敵利用で収量・品質アップ！ ～アスパラガス販売金額1億円の目標達成に向けて～
-----	---

(ダイジェスト)

JAしまね出雲アスパラガス部会では、夏場の高温とスリップスの発生により収量と品質が低下する中、R5年産の販売金額が過去最高(8,600万円)を記録しました。

関係機関と協議し、R4年度から遮光剤の吹き付けや天敵利用の試験を行い、その効果が確認できたことから、これらの技術を周知しながら目標達成を図っていきます。

JAしまね出雲アスパラガス部会では、近年、夏場の高温により若茎が曲がったり、茎に空洞ができたり、また、スリップスにより品質が低下してしまうという問題が発生していました。そこで、部会員に遮光剤の吹き付け、天敵利用を勧め、その実証試験を行いました。

遮光剤は生産者1名のハウスで実施し、その上部に吹き付け、秀優品率、収量を調査しました。R4年産は、R3年産と比較して秀優品率が18%、収量が16%向上し、生産者からは涼しくなり作業性も向上したとの声も聞かれました。

一方、天敵利用は、生産者3名のハウスで実施し、生物農薬をアスパラガスの茎に均等に配置しました。天敵を設置する前に農薬散布を行い、初期のスリップス発生を抑えることが天敵利用の前提となりますが、2つのハウスでは適期防除ができなかったこともあり、天敵設置初期からスリップスの発生が見られ、農薬散布回数が昨年と変わらず課題が残りました。

遮光剤については効果が確認できたため、再度生産者に広く周知していきたいと考えています。一方、天敵については、適期防除を促すとともに、天敵温存植物を植えるなどさらに工夫をしていくことにしています。

農業部としては、関係機関と連携して、アスパラガスの収益性の良さをさらにアピールし新規栽培者の掘り起こしや既存生産者の面積拡大を図るとともに、品質向上にも努め、部会の目標である販売金額1億円の達成を目指していきます。

【天敵設置時の注意ポイント】

- ①天敵を設置する前にスリップスの量を減らしておくこと。
(適期防除、整枝)
- ②スリップスをハウス内に入れないこと。
(防虫ネットの設置、ハウス周辺の雑草除去)
- ③スリップスが好む環境を作らないこと。